

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 : アイ・ソネックス株式会社

企業 URL : <https://www.nasent.net/> (ハイパーリンクを挿入しておいてください)

※ A4 2面（裏表）一枚に、1機種の情報が入るよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 居室 トイレ 個室 個室脱衣所 特殊浴槽 特殊浴槽脱衣所  
食堂 多目的ホール（共有リビングスペース） 看護・介護ステーション リハビリ室  
会議室 事務室 送迎車 その他（ ）

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに1つに○をつけてください

- 見守り支援 移乗支援 移動支援 入浴支援 排泄支援 食事支援  
リハビリ支援 介護記録等 介護業務支援 居室環境等管理支援 ヘルスケア  
その他（ ）

3 製品／サービスの特徴

抱え上げ介助での腰痛や転倒リスクなど、  
身体的・精神的負担

に対し、

1人介助で抱え上げることなく安定した姿勢で移乗でき、身体的・精神的負担軽減

することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 介護者の身体的負担軽減 介護者の精神的負担軽減 介護スタッフ間の連携強化  
被介護者の安全確保 被介護者のQOL向上 被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実  
人材育成・定着促進 周辺業務の効率化・省力化 業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名 : スカイリフト SL-2018R

製品／サービスの URL :

<https://www.nasent.net/%e5%95%86%e5%93%81%e7%b4%b9%e4%bb%8b/%e7%a7%bb%e4%b9%97%e3%83%bb%e7%a7%bb%e5%8b%95%e7%94%a8%e5%85%b7/%e3%82%b9%e3%82%ab%e3%82%a4%e3%83%aa%e3%83%95%e3%83%88/>

製品／サービスの写真・動画



活用事例（動画） : <https://youtu.be/WpCp92kwIGs>

## 6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

起立姿勢で移乗・移動ができるスタンディングリフトで、移乗はもちろん、下衣の着脱、臀部の清潔保持等、排泄ケアをサポートします。1人介助の実現、介助者の腰痛予防だけではなく、要介護者が気兼ねなく介助を頼める、下肢機能の維持・改善が期待できる等、双方が安心して使用可能です。車いすと同等サイズのコンパクトさで小回りがきき、ボタンは「あがる」、「さがる」だけの簡単操作。定価：528,000円（非課税）スリングシート：35,200円～（税込）

## 7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 介護者（施設ケア）  介護者（在宅ケア）  被介護者（施設ケア）  被介護者（在宅ケア）  
 リハビリ利用者（集団）  リハビリ利用者（個別）  管理者（スタッフ管理）  管理者（利用者管理）

## 8 想定している被介護者の状況

- 想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ  
 被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ  
 被介護者の状態次第にて利用可能 → 下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

製品に対する対象者や被介護者の状況について、迷われている企業は協会にて支援致します。  
**本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。**

介護保険制度 要介護認定

- 要支援 1、2  要介護 1  要介護 2  要介護 3  要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）」

- 自立  ランク J（生活自立）  ランク A（準寝たきり）

ランク B（寝たきり／座位保つ）  ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

- 自立  ランク I  ランク II（a・b）  ランク III（a・b）  ランク IV  ランク V

自社独自の分類

## 9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

適用身長：145cm～175cm / 適用体重：100kg 未満

- ・ベッドに自力、またや一部介助で端座位が可能な方
- ・座位から立位までの下肢関節の可動域がある程度保たれている方
- ・片麻痺、両下肢麻痺、四肢麻痺があっても下肢に体重をかけることが可能な方

## 10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

